



全国の実施団体集い 情報交換や事例発表

全国の田んぼアート関係団体が一堂に集い、情報交換や各団体の事例発表を行う「2022 全国田んぼアートサミット in かがみいし」が7月28日(木)、須賀川市文化センターで行われました。

「全国田んぼアートサミット」は、県内では初の開催となり、北海道から九州まで全国18団体・約400人が参加しました。サミットに先立ち、かがみいし田んぼアートの観覧場所である町図書館で見学会が行われ、参加者が見ごろを迎えた「つるのおんがえし」をテーマとした田んぼアートを観覧しました。

サミットでは、岩瀬農業高校の生徒らが種まきや育苗、測量、田植えといった田んぼアート事業への関わりについて事例発表を行い、続いて平成29年からかがみいし田んぼアートの絵柄のデザインを手掛けるアニメーションクリエイ

イターの湖川友謙さんが「私とかがみいし田んぼアートとの出会い」、(株)ビッドガーデン社長の秋元里奈さんが「食ベチョコが考える持続可能な一次産業に向けて」をテーマに、それぞれ基調講演を行いました。

また、パネルディスカッションも行われ、かがみいし田んぼアート実行委員会の和田和久実行委員長ら各団体の代表者が、これまでの取り組みや今後の展望などを発表し、田んぼアートの持つ可能性について意見を交わしました。

サミット終了後に行われた交流会では、今回のサミット開催地が田んぼアート発祥の地である青森県田舎館村となることが発表されたほか、鏡石町の無形文化財に指定されている熊野神社太々神楽、三春町の三春太鼓が披露され、参加者が親睦を深めました。

サミットで「絆」深まる



【2022 全国田んぼアートサミット in かがみいし参加団体】
 JAたいせつ田んぼアート実行委員会 (北海道)、田舎館村むらおこし推進協議会 (青森県)、秋田県北秋田地域振興局、田んぼアート米づくり体験推進協議会 (山形県米沢市)、ファームパークいわえ運営委員会 (三春町)、福島田んぼアートプロジェクト (いわき市)、田んぼアート米づくり体験推進協議会 (埼玉県行田市)、こしがや田んぼアート実行委員会 (埼玉県越谷市)、おひつ膳田んぼ (東京新潟田んぼアート)、田んぼアート菊川 (静岡県)、田んぼアート in 樫津実行委員会 (福井県越前町)、ふれあい田んぼアート実行委員会 (愛知県安城市)、茶屋新田んぼアート実行委員会 (愛知県名古屋)、楠地区まちづくり検討委員会 (三重県)、虎姫地域づくり協議会 (滋賀県)、うしかい田んぼアート実行委員会 (滋賀県甲賀市)、農業組合法人たべた田んぼアート実行委員会 (鹿児島県)、かがみいし田んぼアート実行委員会

Interview 「2022 全国田んぼアートサミット in かがみいし」を終えて

復興と町の活性化で始まった田んぼアートを通じて、全国の団体の皆さんに「東日本大震災から10年が経過した鏡石町を見に来てください」とお願いし、サミットが実現しました。

たくさんの方々にご支援とご協力をいただき、本当に感謝いたします。ありがとうございました。



かがみいし田んぼアート実行委員会
和田 和久 実行委員長

鏡石町の顔ともいえる田んぼアート事業に携わることができ、とても光栄に思います。田んぼアートに関わるようになって5年目となり、これまで大変な部分も多くありましたが、学校が頑張ることで町が盛り上がり、これからは長く続いてほしいと思います。



岩瀬農業高校
赤崎 直樹 教諭

- ①約400人が参加したサミットの会場
- ②あいさつする大会長の木賊正男町長
- ③あいさつする和田和久田んぼアート実行委員長
- ④見学会で田んぼアートを観覧する参加者
- ⑤事例発表を行う岩瀬農業高校の生徒ら
- ⑥持続可能な一次産業をテーマに講演する秋元さん
- ⑦田んぼアートとの出合いを振り返る湖川さん
- ⑧パネルディスカッションで意見を交わす代表者
- ⑨参加者に田んぼアート米粉を使った「あーさー」焼」を振る舞う町商工会飲食店業部会
- ⑩大盛況となった町や近隣市町村の特産品ブース
- ⑪(株)東北旭紙業から寄贈された、参加団体の田んぼアート作品を集めたおもてなしパネル